

少しずつ、右肩あがりのえんべつに。 ヒトモノコトをつなぎなおして、しなやかに持続するまちへ

NPO法人 えんおこ

【NPO法人えんおことは】

北海道のひだりうえにある人口約2,300人の遠別町^{えんべつちよう}を拠点に活動するNPO法人えんおこ（以下、「えんおこ」）は、地域の“あたりまえ”を丁寧に見つめ直し、暮らし・産業・人・情報をつなぎなおすことで、“しなやかに持続するまち”を目指す特定非営利活動法人です。

過疎で変化が見ゆるやかでも、“ちいさな力でも変えることができる世界がある”という信念を礎に、都会では埋もれがちなスキルやアイデアを、町の“隙間”に活かすべく活動しています。



えんおこの活動指針

【主な活動内容】

(1) 移住・交流事業

遠別町における交流人口、関係人口、移住定住促進のため、体験型プログラムや移住支援を実施していま



大学生の受入と交流事業

す。具体的には、町の暮らしを知る「おためし暮らし生活体験」や移住相談、2泊3日～1週間程度の滞在体験や、写真・動画を使ったPR活動を通じて、「こんな暮らしもある」と興味を持ってもらう仕掛けをつくっています。

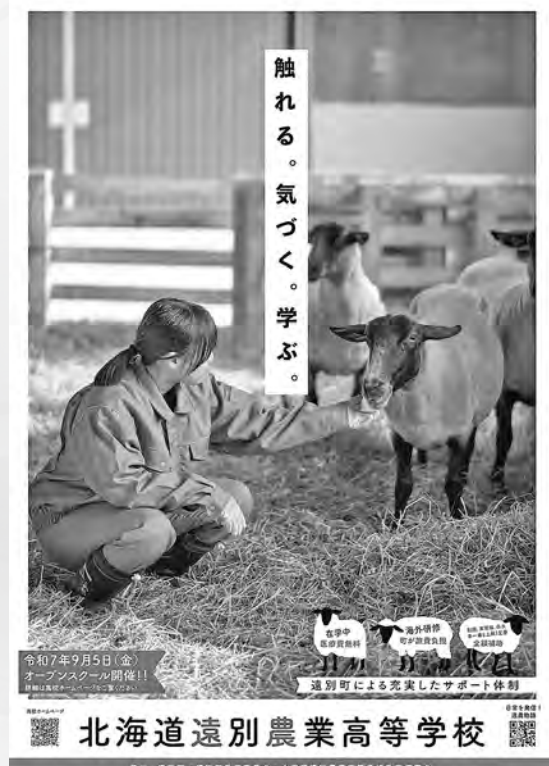
この事業により、町外の方が“遊びに来て、暮らしを考える”きっかけづくりとして機能しています。

(2) 学び・暮らし支援

町内小学5、6年生～中学1、2、3年生を対象とした公設民営塾「えんべつ学びの場」の運営支援を実施しています。これは地域子どもたちの学びを支え、地域に根ざした教育環境をつくる取り組みです。

(3) 高校魅力化プロジェクト(遠別農業高等学校支援)

遠別町には農業高校があり、人口減少とともに生徒数の確保が課題となっていました。えんおこは、この高校の生徒募集支援として、パンフレット・ポスター・



最北の農業高校、遠農

Webサイト「遠農物語」の運営を行っています。

この取り組みでは、学校・行政・地域が協働し、役割分担を明確にした体制で実践されており、「高校＝町の発信拠点」という視点も伴っています。

(4) 地域産業・特産品づくり支援

町の特産品を活用した飲食店「つながりキッチン comedokoro (コメドコロ)」を運営し、地元産品を活かしたお弁当・オードブル販売、イベント出展を行っています。また、遠別町の特産品を活用して6次化を実施し、ふるさと納税の返礼品の製造を行っています。



遠農とのコラボ新商品「遠農切り餅」

(5) 地域おこし協力隊支援

遠別町で活動する地域おこし協力隊の募集から配属後の活動サポート、伴走支援を行っています。現在も募集中です。



遠別町地域おこし協力隊の募集について

(6) 地域情報の発信・クリエイティブ支援

ドローンやアクションカメラ・一眼レフによる撮影、映像編集、デザイン制作などを活用し、遠別町の風景・産業・暮らしを外部に発信しています。

具体例として、広報用パンフレットやポスターを制作したり、HP・SNSを通じて町全体の魅力を掘り下げて伝える活動を行っています。

[PR]

遠別町には、都会では見落とされがちな「隙間」と「ゆとり」があります――。

「大きな町では、ひとりが動いたところでなかなか見えづらい。でも、遠別町のような“ちいさなまち”では、ひとりの働きが町の暮らしを変えていく影響力を持つことができます。これは、えんおこが発信し続けてきたメッセージです。

私たちえんおこは、この町の「暮らし・産業・人・情報」のすべてに丁寧に向き合い、変化を楽しみながら、「北海道のひだりうえ」というロケーションを活かし、クリエイティブな手法と地域資源を掛け合わせています。

「何かやってみたい」「都会とは違う暮らしをしてみたい」「自分のスキルを地域に還元したい」――そんな思いをお持ちの方、まずは遠別町を訪れて、えんおこと一緒に“隙間”に挑戦してみませんか。2泊3日からの体験滞在もご用意しています。



NPO法人 えんおこ

<https://note.com/inakaworks/n/ndd78e2276608>